

令和4年第6回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）	
日 時	令和4年12月22日（木） 10時00分～11時
場 所	2階大会議室
出席委員	阿知良委員長、三村副委員長、井形委員、加地委員、佐藤委員、高橋（泰）委員、中村委員、新野委員
欠席委員	後藤委員、高橋（達）委員
事務局	伊藤教育長、坂口教育部長、西館教育部次長、山崎生涯学習課長、伏見図書館長、佐藤生涯学習課主査

<議事報告>

【日程1】

報告第1号 令和4年第4回室蘭市議会定例会について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員）

市民美術館について、市の美術館がもつ作品の数、内容が市民の美術館への関心に緊密に関連していると思う。現場では色々な工夫をされていると思うが、現在の所蔵のみでは、足が遠のいてしまうという事もあるのではないかと。他市の美術館の所蔵作品なども参考にいただければと思う。

部活動に関して、子どもの学びを保障してあげたいという気持ちは親であれば持つのではないと思う。先生方の中にも部活動への意欲を持った先生もたくさんいると思う。勤務状態や働き方改革等と深く関わるのだと思うが、そういう先生方の発掘にも配慮していただきたい。

（B委員）

性の多様性について、当面は教育委員会が検討していくようであるが、一部署で対応できるようなものではないので、市全体で速やかに検討していただきたいと思う。性の多様性については、市民への学習機会の場を設ける必要がある。制度を創設して、それを申請した人がいたとしても、周りに理解がなければ住みにくい町になってしまう。市民がきちんと理解をして住みやすい環境を作っていくということが重要だと思う。

（C委員）

他の町で部活動の移動にタクシーを使用しているというニュースを見た。そういったものを参考にできるのでは。

（事務局）

現在、実現に向けて色々な方法を検討している段階である。

（D委員）

部活動支援について、他の支援の方法も考えていくという内容だが、具体的にはどのような事なのか。

（事務局）

運動系に比べて文科系の部活に対する支援が少ないという現状があり、そちらの支援方法を検討するという趣旨のもの。

（B委員）

部活動の地域移行で言うと、文科系で活躍してくれる地域の方は、たくさんいそうな感じだが。

（事務局）

文化連盟に対して、協力いただける指導者がいるかアンケートを行っている。

【日程2】

報告第2号 令和5年1月・2月の行事予定について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

- (E 委員) 図書館の行事で、平日開催の場合は、どのような世代をターゲットにしているのか。参加しやすい時間帯を考えていただきたい。
- (事務局) 行事の対象や運営するボランティア団体の都合によって時間帯などを決めている。今後も市民がなるべく参加しやすい時間帯を検討していきたい。

【日程3】

報告第3号 第3次室蘭市男女平等参画基本計画策定に向けた市民アンケートについて

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答)
- (A 委員) 今回のアンケートを自分が実際に答えるとなると、どう答えたらいいのかと思う項目もあり、作成するにあたって、非常にご苦労があったと思う。

【日程4】

- その他 (1) 令和4年度胆振管内社会教育委員連絡協議会研修会について
(2) 令和5年度北海道社会教育委員連絡協議会について
(3) 令和5年社会教育委員の会の日程について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答)
- (B 委員) 胆振管内社会教育委員研修会について、会場となった図書館などの新しい施設や、環境科学館での取り組みなどを管内の参加者の方々に見ていただいて、とても良い交流になったのではないかと思います。また、来年度も引き続き室蘭市が事務局を行うにあたり、次回の研修会のテーマについて、委員の方々も思いつくことがあれば出していただきたい。

【その他】

- (B 委員) 施設が変わっていく話については、社会教育に関わる話なので、引き続き社会教育委員の会で話題にしていく方向で進めていく必要があると思う。ご意見等あれば出していただきたい。
- (事務局) 施設の先のことと並行して、ソフト面をどのように充実させていくのかなど、こちらでまとめたものをお示しするなどして、次回以降意見が出やすい方法を考えていきたい。

次回開催日 令和5年2月16日(木)